

【会議録】

主 題 令和5年度 第3回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和5年8月29日（火） 午後2時～午後2時30分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 2階 会議室 1、2
- 出席委員：秋山義継会長、廣瀬貢司委員、田中正利委員、富山和之委員、小川一成委員、仲野俊二委員、寺田明弘委員（代理：山浦俊一氏）、飯島宣昭委員、八木岡道孝委員、荒井栄司委員、豊島美智子委員、島崎邦雄委員、池田和美委員、笠川輝章委員、神達隆樹委員（代理：岡本伸二氏）、大久保益雄委員、細谷知英委員
以上 17名
- 欠席委員：古谷隆夫副会長、澤島政志委員、服部 透委員、國下裕司委員、山野井周一委員、東ヶ崎祐二委員
以上6名
- 事務局：都市計画課 成嶋課長、藤倉課長補佐、堀越係長、岩上主事
（株）アルメック 和田主任コンサルタント 中島コンサルタント

●次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
協議事項
(1) コミュニティバス再編（素案）について
- 4 閉会

議題

- 協議事項
(1) コミュニティバス再編（素案）について
コミュニティバス再編（素案）について説明し、承認された。

●会議録

- 1 開会（午後2時）
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

協議事項

- (1) コミュニティバス再編（素案）について
コミュニティバス再編（素案）について説明し、承認された。

【質疑等】

会 長：事務局より、再編のルートについて説明をいただいたが、今回新たに設定するルートについては、今後試行錯誤しながら検証をしていかなければならないと思う。また、今回少しの変更で維持するルートについても、バスは即時財であるため、細かく調査をし、検証していかなければならない。需要と供給を一致させ、地域内のネットワークとして市民の利用可能性、移動性を確保していかなければいけない。

委員意見：今回新規ルートがあるということだが、運行回数やドライバーの拘束時間は多くなるといったイメージなのだろうか。

事務局：今回設定するルートについては、既存のルートを一部減便し、その分で運行し

ていただく形をとっている。現在、運行事業者の方に確認をしていただいている最中ではあるが、ドライバーの拘束時間を伸ばすことなく運行できると見込んでいる。

委員意見：現在運行事業者は慢性的なドライバー不足を抱えている。それに加え、来年4月からは働き方改革によりドライバーの就業時間の規制が変更になる。これらを踏まえたルート・ダイヤ設定をしていただきたい。

委員意見：バス停設置に伴う道路使用許可はいつごろ行う予定なのだろうか。また、設置に伴う横断歩道の移設についてはいつごろ分かりそうか。

事務局：バス停については現在運行事業者と調整をしているが、現在路線バス等で設置している場所と同じ場所に設置する予定であり、横断歩道の付近等、危険な場所には設置しないことを想定している。なお、申請等については、最終案が定まる前には位置の決定をし、その後段階を追って申請の手続きに入っていきたいと考えている。

会長：委員から質問があったように、公共交通は安全が第一である。運行事業者、そして行政も許可を得る前に、本当に安全なのか、安全性を第一に考えていただきたい。

委員意見：福岡に住んでいるが、この地区は路線が設定されていなかった。今回、新規ルートを設定するという事で、地域にとっても喜ばしいことだと思う。

会長：この新規ルートを利用していただき、行政、地域の方が協力しながら、利便性の向上に取り組んでいただけたらと思う。

6 閉会（午後2時45分）

●配布資料

【資料1】 コミュニティバスの再編（素案）について